

「ごみ」を「資源」に!



ごみ処理に関わる費用が見直された結果、4月1日から市指定資源ごみ袋の価格が変更（低減）となりました。これにより、資源ごみを分別して出すことで各ご家庭のごみ処理費用が抑えられ、同時に、対馬市のごみ処理にかかる費用も抑えられることにつながります。

また、上対馬町、上県町、峰町のごみ収集回数を資源ごみを月2回、不燃・有害ごみを月1回と変更し、市内で統一しました。これを機に、各ご家庭で出るごみや捨て方について考えてみましょう。

対馬市のごみ袋(家庭用)は2種類 10枚1セットで販売

可燃・不燃・有害ごみ用(赤色)



1枚あたり

大 … 61円
小 … 40円
ミニ 20円

資源ごみ用(緑色)



1枚あたり

	変更前	変更後
大 …	30円	→ 20円
小 …	20円	→ 15円
ミニ	10円	→ 5円

赤色のごみ袋から **分別して** 緑色のごみ袋で出すことで **お得に!**

資源ごみで出すことができるごみは 8品目

8品目はそれぞれ別々の袋に入れてください

対馬市では、8つの品目を資源ごみとして回収し、集められたそれぞれのごみは、島外へ搬出され、リサイクルされています。決められた種類や状態に分けることによって、スムーズで確実なリサイクルにつながっています。

缶類

(アルミ缶・スチール缶)

飲料用のみ



缶は潰さないでください

ペットボトル

飲料用のみ



ラベル・キャップは必ずはずして、潰さないでください

びん類

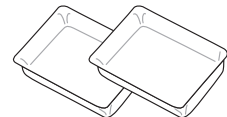
飲料用の5合びんまで
※調味料用のびん、一升びん、洋酒びんは不燃ごみ



キャップは必ずはずしてください

白色トレイ

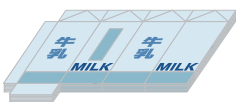
※変色したものや汚れているものは可燃ごみ



異物をきれいに洗い、乾かしてください

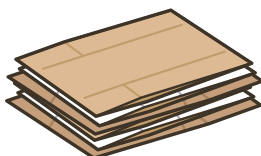
紙パック

※キャップや内部が加工してあるものは可燃ごみ



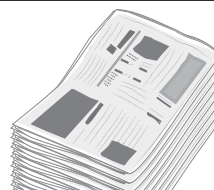
洗って切り開いて乾かしてください

段ボール



ダンボール以外は取り除いてください

新聞紙



新聞紙と雑誌類は別々の袋に入れてください

雑誌類

(雑誌・本・チラシなど)



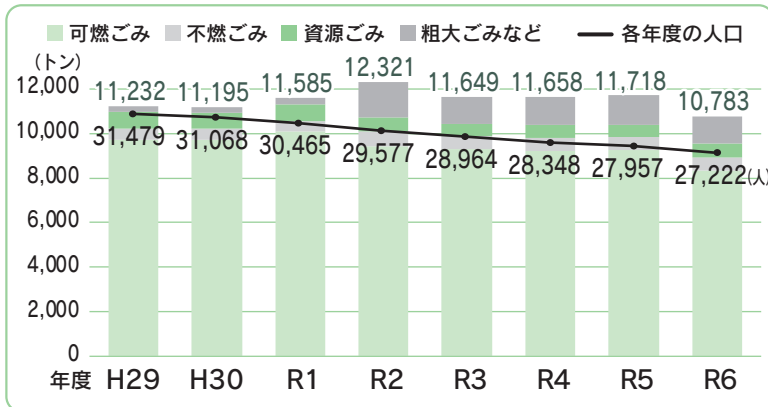
家庭から出たごみはどこへ？

みなさんが家庭から出したごみはどのようなかご存じですか？離島であり、南北に長い対馬では、ごみの行方も特徴的です。

家庭から出された可燃・不燃・有害・資源ごみは全て、厳原町安神地区にある対馬クリーンセンターへ運ばれます。各地区で走る収集車両が全てここへ行くのではなく、上対馬町と峰町にそれぞれある中継施設で一度集めたものを大きな車両で運ぶなど、効率的な運用を行っています。



毎年どのくらいのごみを出しているの？



対馬市の家庭から出されるごみの量は、毎年1万2,000トン前後で推移しています。内訳を見ると、その80%は可燃ごみとして出されています。一方、対馬市の人口は、令和2年度に3万人を切るなど、年々減少しています。外国人観光客の増加など、住民以外が出すごみの増加などの要因もありますが、ごみの排出量をできるだけ少なくする、特に、8割をしめる可燃ごみをできるだけ少なくする取り組みが求められています。

なぜ可燃ごみを減らす必要があるの？

可燃ごみは、対馬クリーンセンターに集められ、加熱した砂を使って熱することで溶かして処理します。対馬市でごみの処理に係る費用のうち、焼却炉の運転や維持管理に係る費用が最も多く、可燃ごみを減らすことで、この費用を抑えることができます。また、焼却施設が安定して動き続けることにつながり、必要以上の経費を使わないことにつながります。



可燃ごみを減らす取り組み



対馬市では、SDGsアクションプランに基づき、令和4年6月14日に「ごみゼロアイランド対馬宣言」を行いました。これは、何度も利用できる物を積極的に取り入れ、その上で、不用になったものを、ごみとして極力出さず、様々な形に生かしていく（リサイクル）という考え方です。可燃ごみを減らし、資源ごみを増やす今回の取り組みは、その考え方に基づいています。また、平成24年度から始めている生ごみの回収、堆肥化の取り組みも可燃ごみを減らす上で重要です。



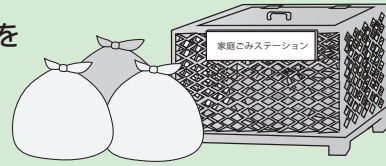
生ごみ回収事業について詳しくはこちら

ごみを集める人の声を聞いてみました!



対馬市内では13の事業者が、みなさんが日々出すごみを
集め各処理施設へ運搬しています。

ごみを回収する側の人たちにお話を伺ってみました。



ごみはプライバシーのかたまりです!

不用なものをごみとして出される訳ですが、そこには様々な情報が詰まっています。ごみ袋の口の結び方がゆるかったり、野生動物などがつついたりして中身が飛散すると、郵便物など、個人を特定する情報が印刷されているのはもちろん、薬の空き容器やダイレクトメールの内容なども他人の目に触れることになり、個人のプライバシーが保たれません。袋はしっかりと口を結んで、中身が外に出ないようにお願いします。



ごみ出しは当日の朝に!

ごみを確実に回収するためには、やはり、当日の朝にごみ出しをしてほしいです。野生動物による可燃ごみへの被害を防ぐことはもちろんですが、ここで問題になるのが資源ごみ。ニオイや濡れても大丈夫という気持ちで、ペットボトルや缶を資源ごみとして回収日以外にステーションに出すと、それによって可燃ごみを入れるスペースがなくなり、資源ごみをステーションの外に出す人が出てきます。資源ごみなので、野生動物による影響はないのですが、風の強い日などはどこかに飛んで行くことも考えられます。不燃ごみも同様に回収日の朝に出してください。

また、ポリバケツで出されるみなさん、風が強い日、回収後のバケツが飛ぶ場合があるので、重しを乗せた上でのごみ出しをお願いします。



回収してあげたいけれど、、、

資源ごみとして出された飲料缶に、一つだけ缶詰の空き容器が……。一つくらいならと回収してあげたい気持ちになるのですが、ルールで決められている以上それはできません。回収されず溜まっていくのは、景観を損なうだけでなく、環境への悪影響や、不法投棄の温床になることも考えられますので、ぜひルールを守ってください。また「収集できません。」というシールが貼られた場合は、速やかに持ち帰ってください。



お心遣いに感謝します

不燃ごみで、刃物や割れたガラスなどの鋭利なものは、紙などに包んで出してください。そして、中身がわかる状態を出していただくと、とても安心です。中には、包んだ紙などに「ガラス注意!」などと書いてくださる方もいらっしゃって、お心遣いにとっても嬉しくなります。



これからも、みなさんの豊かな生活のために努力してまいりますので、
ご協力をよろしくお願いします。

ごみやごみ出しに関するよくある質問にお答えします!



ごみ出しのルールは、各自治体によって違いがあります。対馬市に寄せられる、よくある質問やご意見をまとめてみました。



Q

ペットボトルや缶類は潰してはいけないの？
潰した方がたくさん袋に入るし、ごみ出しもしやすい!



A

潰さずに出してください!

缶類やペットボトルは、分別後、潰して塊にします(表紙写真)潰す際容器同士がかみ合わさって固定されるため、あらかじめ潰されていると、塊にならない問題が生じます。ペットボトルは中身を空にして、軽くすずいでキャップとラベルをはがした状態を出してください。

Q

スプレー缶は穴をあけないといけないの？
爆発事故などのニュースを聞くけれど、穴を開けるのは大変



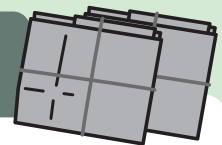
A

穴は開けなくていいですが、必ず中身は出し切ってください

高齢の方など、スプレー缶に穴を開けるのは一苦勞です。対馬市では、穴を開ける必要はありませんが、必ず最後までガスを噴射させてから、不燃ごみとして出してください。

Q

ダンボールなど袋に入らない場合は？
通販などを利用して溜まる一方のダンボール、処理が大変



A

原則、袋の口を結ぶことができる量で出してください

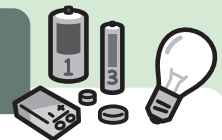
ごみは原則、袋の口を結ぶことができる量で出してください。ただ、大きなダンボールなどは結ばなくても飛散しない程度に詰めていただければ回収します。それ以外のものは、クリーンセンターや中継所への持ち込みをお願いします。

4月1日よりごみ処理施設に持ち込む際の手数料が変更になりました。

家庭ごみ 改定前 ▶ 100kgまで200円 以降50kgごとに 78円
改定後 ▶ 100kgまで300円 以降50kgごとに100円

Q

有害ごみの出し方は？
使用済みの電池など、なかなか袋いっぱいにならない



A

不燃ごみと一緒に出してください

不燃ごみを出す袋の中に、ポリ袋などで分けて入れてください。また、モバイルバッテリーなどは、対馬市役所(環境政策課)、各振興部住民生活課および各行政サービスセンターでも回収しています。



ご不明な点は、環境政策課まで
☎0920(53)6212

ごみの出し方はこちら

